

# TAMIYA vol.147 Jr.News



▲ミニ四駆ジャパンカップ2012東京大会3のようす

ミニ四駆REVシリーズ・第2弾マシン  
エアロサンダーショット

風と共に走りぬけ。

ミニ四駆オータムカップ2012

ビッグサーキットが全国を巡回中!!

ミニ四駆イベント情報

【タミヤジュニアニュース】2012年11月号



## 風と共に走りぬけ。

ミニ四駆REVシリーズ・第2弾マシン

ミニ四駆発売30周年の2012年に登場したミニ四駆REVシリーズに、第2弾の新マシンがいよいよ登場。その名も「エアロ サンダーショット」。マシンの発表以来、大きな話題を巻き起こした新マシンの姿を今回はじっくりと紹介しよう。

名車“サンダーショット”がエアロマシンに変身。

長い歴史を持つ名車“サンダーショット”のミニ四駆の始まりは、今から24年前の1988年に登場したサンダーショットJr.。その後、多くのサンダーショット系のマシンが登場し、その度に走行性能がアップしてきた。新マシンのエアロ サンダーショットは、これまでに集められた多くの走行データ、さらに最新の技術を凝縮させた1台なのだ。

今まで登場したサンダーショットの一部

レーサーミニ四駆  
サンダーショットJr.  
1988年3月発売

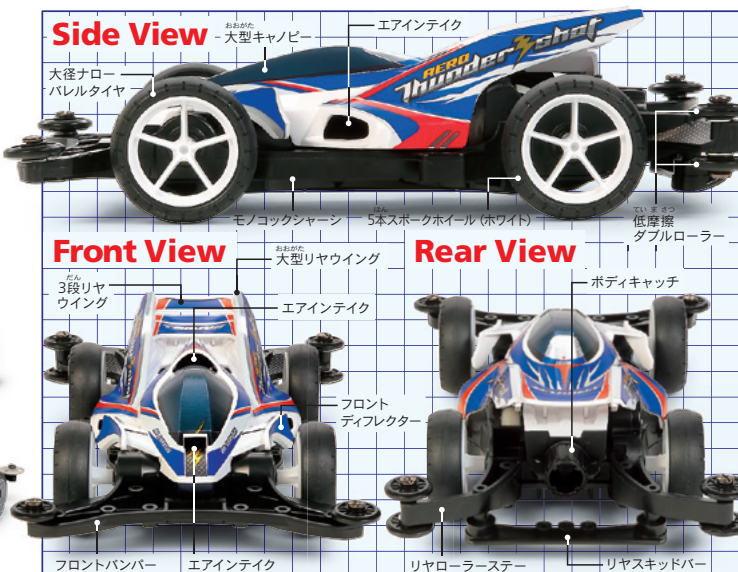


ミニ四駆PRO  
サンダーショットMk.II  
2007年9月発売



ミニ四駆REVシリーズ No.2  
エアロサンダーショット (ARシャーシ)  
945円 (Item:18702) 11月23日発売

# AERO THUNDER SHOT (AR CHASSIS)



空力性能を高めた  
エアロスタイルボディ。  
大型キャノピーや、リアウイング翼端板とボディが一体化したビュレットフォルムなど、サンダーショットの特長を引き継ぎながらも空力性能を追求した流線型デザインにリファイン。複数設置したエアインテイクが、効果的にモーターや電池を冷却。空気の流れを最大限に利用するボディに仕上がった。



エアロ サンダーショットは10月に開催された全日本模型ホビーショーで、その姿が初公開。多くのミニ四駆ファンの注目を集めたマシンだ。

## メンテナンス簡単。ARシャーシを採用。

ボディをつけたままシャーシ下面からバッテリーやモーターが交換でき、すぐにセッティング変更が可能なARシャーシを採用。アンダートレーからディフューザーにかけてのスムーズな仕上がりは、走行風の空気抵抗が少なく空力性能に優れた形状だ。

